

地域特性と優位性を活かしたまちづくり



鏡石町長
木賊政雄

新年明けましておめでとう
ございます。

長雨、冷夏の不順天候とな
った昨年は、10年振りの冷害
となり、農産物被害や個人消
費の低迷など社会経済に大き
な影響を与えましたが、関係
各位のご努力により、何とか
克服できたものと思えます。
今年は、天候に恵まれ豊作の
年となることを願っております。

現在、全国の自治体で大き
な課題となっている市町村合
併については、これまでであ
ゆる機会をとらえて検討して
参りましたが、少子高齢化傾
向が続く県内自治体の中にあ
って、高齢人口比率では低い

方から3番目となっており、
出生者数も安定し、人口減少
に悩む自治体に比べ、増加の
予測が出されていることや三
位一体の改革の味が依然不
透明であることから、市町村
合併特例法の期限にこだわら
ず、本町の置かれていた地域
特性と優位性を活かしたまち
づくりを推進して参りたいと
考えております。町民皆様と
共に、私たちの郷土「鏡石町」
を誇れる町にしたいと考えて
おりますので、ご理解をよろ
しくお願い申し上げます。

さて、我が国経済は、幾分
回復の兆しが見られるものの、
デフレ傾向は依然として根強
く、不安の続く雇用情勢など

取り巻く環境は厳しい状況で
はありますが、3年目となる
「第4次総合計画」の、快適
空間づくり、元気づくり、
活力づくり、人づくり、
地域づくり、の5つの柱を
基軸に、町民の皆さんが幸
せを実感できるまちづくり」
を積極的に進めて参ります。

特に、雇用の場確保のため
の南部第1工業団地への企業
誘致推進、自治体個性化に対
応した「フローラのまちづく
り」、快適な環境づくりとし
ての「環境美化推進事業」、E
T革命のもと自治体における
質の高い住民サービスの提供
に向けた「電子自治体推進事
業」、子育て・少子化に対応

した「幼児教育・児童福祉事
業」の充実など、私たちの生
活に直面する諸課題に取り組
み、「やすらぎ」と「うるおい」
のあるまちづくりを進めて参
りたいと考えております。

低迷の続く経済情勢の中
にはありますが、積極的に行政
改革を推進し、「共に生き
ともにつくる牧場の朝のまち
鏡石」のメインテーマのもと
「ほんとの幸せ」が実感でき
るまちづくりに向けて努力し
て参る所存であります。

皆様のこの一年のご多幸を
お祈り申し上げますととも
に、引き続き温かいご支援と
ご協力をお願い申し上げます。
のご挨拶いたします。

やすらぎとうるおいのあるまちづくり



鏡石町議会議長
菊地栄助

新年あけましておめでとう
ございます。

輝かしい2004年の新春
を、ご家族お揃いで、健やかに
お迎えのこと謹んでお祝い申
し上げます。また、平素より
議会運営に對しまして、多大
なご支援、ご協力を賜り厚く
御礼を申し上げます。

さて、昨年は冷夏、日照不
足等の異常気象により農家の
皆様にとっては、大きな打撃
を受けた年になりました。ま
た、日本経済は、幾分明るい
兆しが見られますが、雇用情
勢など未だ厳しい状況が続
いております。そのような中、
町の諸事業は計画的に進行し
ております。

鏡石南部第1工業団地には、
(株)都ローラー工業との立地
契約が整い、現在は4企業が
操業しております。

駅東第1土地区画整理事業
は、換地業務も進み、「都市
と緑」の調和のとれた新しい
まちづくりが進められてお
り、昨年は、住宅の移設補償
が完了し道路整備工事が着手
されたところであります。

また、永年の念願であった
国道4号4車線化につきまし
ても都市計画決定を受け工事
に向けての測量が進められて
おり、生活環境づくりの下水
道整備事業、上水道第4次拡
張事業、産業づくりの県管成
田ほ場整備事業、生活関連道

水路改修事業等々、順調に進
捗しております。これら事業
の実現に向け鋭意努力をして
参ります。

議会は、議員定数を16人か
ら14人にする条例を制定し、
昨年の町議会議員選挙から14
人で議会活動を展開してあり
ます。

現在、国では、市町村合併
特例法の適用期限である、平
成17年3月までに合併を行え
ば、財政的な支援をするとい
う方針を打ち出しております
が、議会としては、市町村合
併に関する調査特別委員会を
設置し、今後のまちづくりに
ついて、自立の道をとるか、
合併するか協議検討を進めて

いるところです。

私達、議会といたしまして
も町民生活の安定と向上を
図るため、知恵を出し合い、
町民の声を十分反映させると
共に、町の基本構想に沿った
「やすらぎ」と「うるおい」の
ある明るく住みよいまちづく
りに全力を注いで参ります
ので、町民の皆様のご支援と
協力をお願い申し上げます。
結びに、皆様にとって本年
も飛躍の年になりますと
共に、「ご健勝とご多幸を心か
ら」ご祈念申し上げまして新年
のご挨拶いたします。